

「全柔連 COMEBACK 女子柔道プロジェクト」 『みんな集まれ!! JUDO フェスタ 2025 in 真庭あぐりガーデン』

実践報告書

1. 私たちが目指したこと（コンセプト）

- ・これまでの柔道の「痛い・怖い・厳しい」というイメージを払拭し、誰もが「楽しい・安心・やってみたい」と感じられる「女子柔道の入口」を目指しました。
- ・道場を飛び出し、商業施設へ！「道場は敷居が高い…」という方でも、お買い物ついでに気軽に立ち寄れるオープンな環境をつくりました。
- ・「見る・触れる・感じる」体験として、柔道衣に触れ、畳の上で遊び、カッコいい技を間近で見る。五感で柔道の魅力を伝えました。
- ・女性が主役のコミュニティの一つとし、岡山県内の女子大学生や女性指導者が中心となり、憧れのロールモデルと出会える場を意識しました。

2. イベントの様子

■ 実施内容

- ①柔道あそび
 - ・畳の上で安全に体を動かす、笑顔あふれる体験プログラム。
- ②技の紹介・デモ
 - ・女子大学生による、カッコよくて美しい技の披露。
- ③柔道衣体験
 - ・初めて袖を通す柔道衣。着てみるだけで気分は柔道家！
- ④キッズスペース
 - ・小さなお子様も安心して遊べる交流の場。

■ 開催詳細について

日時：2025年11月24日（月・祝）

第1部 10:00～11:30

第2部 13:00～14:30

場所：真庭あぐりガーデン岡山店（特設会場）

来場者数：91名

運営スタッフ：47名（岡山県内大学生、岡山県柔道連盟女子柔道振興委員）

■ 告知方法

- ・SNS /HP（一時的なHP：LPの作成）/チラシ配布
- ・チラシ配布
- ・関係団体・大学・柔道関係者を通じた案内



3. さいごに

『たくさん「笑顔」と「きっかけ」が生まれました』

～柔道が「身近なもの」になったひととき～

今回のイベントでは、単なる体験以上の、柔道との「新しい関わり方」が見られました。

・「またやりたい！」とはしゃぐ子どもたち

柔道が初めての子どもたちが、畳の上で転がったり走ったりすることで、自然に笑顔になっていく姿が印象的でした。「もう一回やりたい！」とはしゃぐ様子に、柔道が「楽しい遊び」として受け入れられた手応えを感じました。

・お母さんたちも「柔道衣を羽織る」体験を

柔道を全く知らなかったお母さんたちも、お子さんに誘われて一緒に柔道着を羽織り、畳に上がる場面がありました。「柔道着を着て、親子で畳に座ってみる」。そんな気軽な体験を通して、柔道が「遠い世界のもの」から「自分たちも触れられるもの」へと変わる、穏やかな時間となりました。

・地域に広がる女子柔道の輪

商業施設というオープンな場所だからこそ、これまで柔道に接点がなかった方々へも、その雰囲気をお届けすることができました。大学生や指導者、そして地域の方々が一体となり、みんなで女子柔道を支える自然な一歩を踏み出すことができました。

柔道の発展と普及、そして感謝を込めて

「柔道衣を着てみたら、意外と楽しかった」 「親子で畳に上がって、良い思い出になった」

そんな日常の中の小さな体験こそが、女子柔道の裾野を広げ、次世代へと繋がる確かな力になると感じております。今回のイベントで見られたたくさん笑顔の大切を、これからも世代を問わず、誰もが柔道を身近に感じ、親しめる環境づくりに努めてまいります。最後になりますが、本事業を通じて、柔道の新しい普及のあり方を実践する機会をくださいました全日本柔道連盟様に、心より感謝申し上げます。この取り組みを岡山における女子柔道の発展に繋げていけるよう、これからも一つひとつの活動に誠実に取り組んでまいります。



